

金融リテラシー

第23回 行動経済学研究センター シンポジウム

2026年9月2日(水) 18:30~20:30

オンラインにて開催 (Zoom)

主催：大阪大学社会経済研究所

後援：一般財団法人 アジア太平洋研究所 (APIR)

大阪大学社会経済研究所 第23回行動経済学研究センターシンポジウム 「金融リテラシー」

高校での金融教育が2022年の学習指導要領改訂により必修化されるなど、金融リテラシー・金融教育に近年注目が集まっている。本シンポジウムでは、経済学の立場からみた金融リテラシー入門および日本の実態と課題を取り上げる。前半では学生および消費者のための金融リテラシー入門を概説し、後半では日本における金融リテラシーの実態をデータに基づいて紹介する。

プログラム

18:30-18:35	開会のご挨拶
18:35-19:15	室岡 健志「学生・消費者のための金融リテラシー入門」
19:15-19:55	池田 新介「データでみる日本の金融リテラシー」
19:55-20:20	質疑応答
20:20-20:30	閉会のご挨拶

司会：今井 泰佑

開催形態：「Zoom（ウェビナー）」を用いたオンライン配信で開催します。（参加無料）

申込開始：2026年8月3日（月）12:00 から。但し、定員に達し次第、締切ります。

参加方法：大阪大学社会経済研究所 WEB サイトよりオンラインでお申込み下さい。

<https://qr.paps.jp/F5BcP>

備考：Zoom の機能を使って、参加者からの質問にもライブでお答えする予定です。
時間の関係で全てのご質問にはお答えできませんがご了承ください。



登壇者プロフィール



室岡 健志 Takeshi Murooka

大阪大学社会経済研究所 教授、同研究所行動経済学研究センター センター長

講演タイトル：「学生・消費者のための金融リテラシー入門」

講演要旨：経済学の立場からみた、学生および消費者のための金融リテラシー入門を概説します。具体的な内容としては、クレジットカード等や住宅ローンなどの支出管理、国民健康保険や国民年金などの社会保険、複利と資産形成、などをカバーする予定です。

プロフィール：新潟県出身。筑波大学社会学類卒業。米国カリフォルニア大学バークレー校経済学部博士課程修了、博士（経済学）。独ミュンヘン大学 Assistant Professor、大阪大学大学院国際公共政策研究科講師および准教授を経て 2024 年より現職。2025 年 4 月から行動経済学研究センター長を務める。専門は、行動経済学、産業組織論（企業の経済学）、ミクロ経済学。著書に『行動経済学』（日本評論社、2023 年）。最近の趣味は子が好きな漫画を自分も読み、その漫画の内容について子と話すことです。



池田 新介 Shinsuke Ikeda

大阪大学招へい教授・名誉教授、関西学院大学客員教授、大阪経済大学 客員教授

講演タイトル：「データでみる日本の金融リテラシー」

講演要旨：日本人の金融リテラシーの実態をいくつかのデータを見ながら、その傾向と問題を皆さんと一緒に考えていきたいと思います。社会経済背景や心理・認知特性によって人々の金融リテラシーがどのように違っているのか、そして金融リテラシーの違いが金融投資行動にどのように関連してくるのか、などについて話したいと思います。

プロフィール：大阪府出身。神戸大学経営学部卒業、博士（経済学、大阪大学）。行動経済学会会長、公認会計士第 2 次試験委員、証券アナリスト試験委員など歴任。主著として、『金融市場の行動経済学』（2025、岡田克彦氏と共著）日本経済新聞出版・日経 BP、*The Economics of Self-Destructive Choices* (2016) , Springer、『自滅する選択 先延ばしで後悔しないための新しい経済学』（2012）東洋経済新報社（日経経済図書文化賞）。懐かしい「社研シンポ」で皆さんとお話しできるのを楽しみにしております。

司会者プロフィール



今井 泰佑 Taisuke Imai

大阪大学社会経済研究所 教授

プロフィール：大阪府出身。東京大学経済学部卒業。米国カリフォルニア工科大学人文社会科学科博士課程修了。博士（社会科学）。同大学 Postdoctoral Scholar、独ミュンヘン大学 Assistant Professor を経て 2023 年 10 月より現職。専門は実験経済学、メタサイエンス。海外からのゲスト研究者に日本のお気に入りスポットやレストランを教えてもらうことが多く、行きたい場所が増え続けています。

